

元ひきこもりを中心とした生きづらさを抱えた当事者の長期安定的社会生活に寄与するための穏やかなネットワーク形成事業

コース
初動事業

NPO法人ウィークタイ

■ 交付決定額 100,000 円

(事業予算 136,890 円)

事業の概要

ひきこもりの多くが、社会復帰後にも不安定な生活を送っています。私たちはこのような生きづらさを抱えた当事者の長期安定的な社会生活に寄与するため、自助会や交流会の運営を通じ、穏やかなネットワークを作ります。



◎活動の様子（平成 28 年度）



ひきこもり、元ひきこもりの当事者が集まり、食事をしながらゆるやかに語る「ゆるぺちや交流会」が2月24日（金）にとよなか国際交流センター（玉井町）で開かれました。いつでも出入りできるように扉を開放する中、交流会が始まりました。

第一部は、日本各地の当事者・経験者の4人をゲストに招いてのトークセッション。カウンセラーの竹内佑一さんが進行役となり、“幸せ”をテーマに、参加者が自分の経験や現在の状況、思いを語り合いました。「人前で話せるようになったとき」「体調が良いとき」など普段よりちょっとだけ良いことがあった場面や、「生きていることが幸せ。昨日より今日」と自らの考えを整理することができたときに幸せを感じると笑顔で話しました。しかし、トークが進むにつれて参加者の表情は硬くなり、静かな空間に変わっていきました。「今日は幸せをテーマに楽しく進めたいと思っていたけど、真逆にある不幸せを考えてしまう。幸せを探すには心の余裕も必要」と竹内さんは話します。

第二部は、参加者同士の情報交換の場。他県からの参加者は「このような場を見つけることは難しい。安心できる場であるからこそ素直に話すことができます」「行政職員と一緒に語り合えることはありがたい」。

代表の泉翔さんは「幸せは比較することと密接に関係し、目標を高くおくと達成できない場合に落ち込んでしまいます。ささやかな目標であれば常に上回ることができ、幸せにつながります。団体名であるウィークタイは弱いつながりを意味し、絆という強いつながりよりも実は緩やかなつながりの方が強い。緩やかにつながるからこそネットワークが生まれることもあるんです。」と話していました。



◎今後の予定（平成 28 年度）

- ・「だらだら集会」（月1回）
- ・「経験を語る会」（月1回）

◎リンク [▼NPO 法人ウィークタイホームページ](#)